

## 基本情報

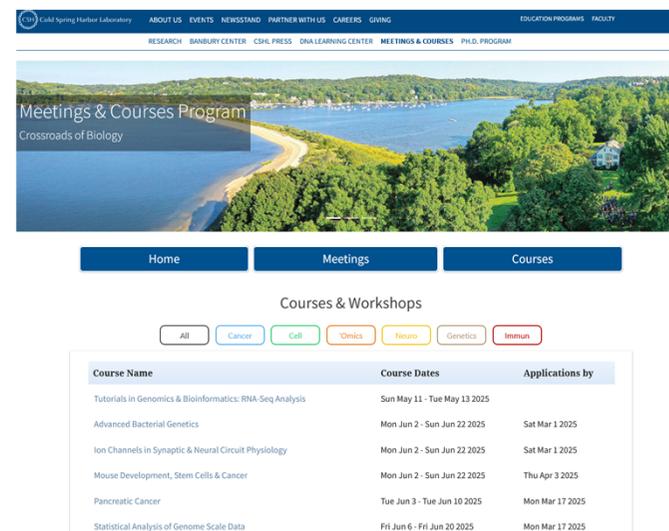
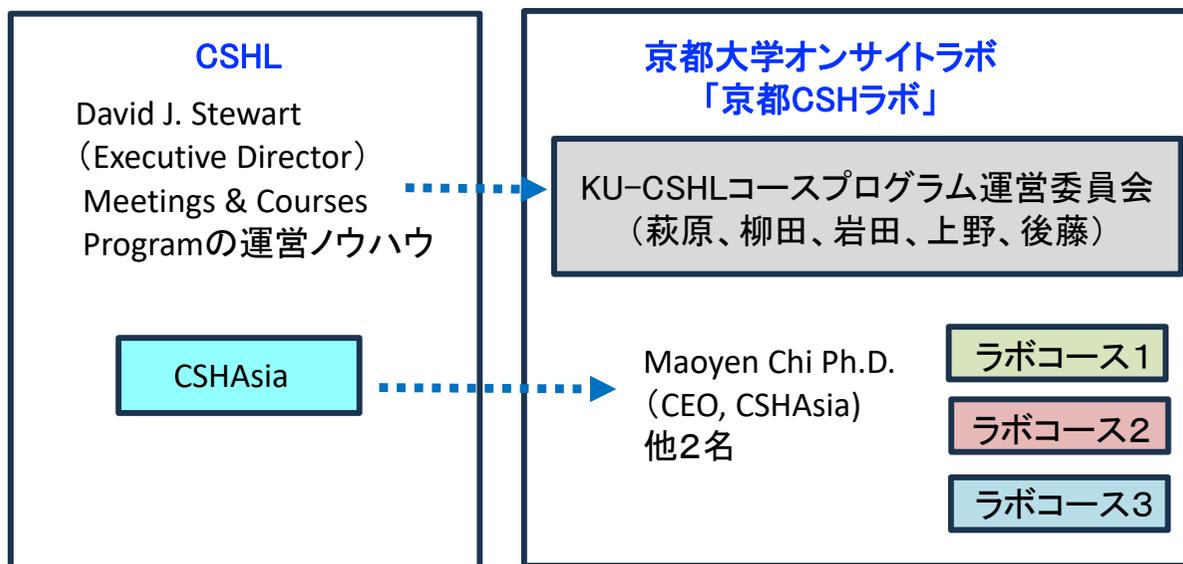
- ◆ 実施部局: 医学部・医学研究科、iPS細胞研究所
- ◆ 相手方機関: COLD SPRING HARBOR LABORATORY (CSHL)
- ◆ 設置(予定)時期: 2025(令和7)年10月
- ◆ 設置場所: 京都大学大学院医学研究科
- ◆ 設置タイプ: インバウンド型
- ◆ 設置目的: KU-CSHLラボコースを開設して人材育成、国際交流、国際共同研究等を促進する。
- ◆ 教育研究活動内容: CSHLは本医学研究科内に、研究交流や人材育成のためのオフィスを設置してスタッフを常駐させ、最先端の生命科学分野の国際的技術研修コースを開設する。これにより、先端技術情報の国際的発信や、国際共同研究の促進効果も期待出来る。

## 期待される波及効果

- ・本学の院生や若手研究者が生命科学分野の最先端技術を居ながらにして習得する機会の提供。
- ・ノーベル賞受賞者など国際的研究者のセミナーを聴講できる機会の増大。
- ・ラボコースには海外からも多くの院生・若手研究者が参加するため、国際交流が飛躍的に促進。
- ・CSHLの最先端研究者と本学研究者の交流も進み、国際共同研究が増進。

## 活動概要

CSHLは分子生物学の発展を牽引してきた世界最高峰の研究所で、世界中の優れたサイエンティストを集めるミーティングやラボコースも主催するなど、生命科学分野の世界的な中心地としての地位を維持発展させている。そうしたラボコースを本医学研究科内で開催することによって、本学の院生や若手研究者が生命科学分野の最先端技術を居ながらにして習得する機会を提供できる。またノーベル賞受賞者など国際的研究者が本ラボコースで講演を行うため、本学の研究者がそうしたセミナーを聴講できる機会が増大する。またこのラボコースには海外からも多くの院生・若手研究者が参加するため、国際交流が飛躍的に促進されると予想される。また、この共同事業を通して、CSHLの最先端研究者と本学研究者の交流も進み、国際共同研究の増大効果が期待出来る。



URL: <https://meetings.cshl.edu/courses>

## 基本情報

- ◆ 実施部局: 工学研究科・エネルギー科学研究科
- ◆ 相手方機関: ボルドー大学ICMCB・ナント大学IMN
- ◆ 設置(予定)時期: 2025(令和7)年11月
- ◆ 設置場所: 京都大学、ボルドー大学ICMCB、ナント大学IMN
- ◆ 設置タイプ: クロスバウンド型
- ◆ 設置目的: 革新的機能をもつ無機エネルギー材料の開発
- ◆ 教育研究活動内容: 京都大学とフランスのトップ研究機関との間で優秀な学生と若手研究者の交換と教育を促進する拠点の形成

## 期待される波及効果

- ・日本とフランスのトップレベルの材料化学研究者の共同研究によるエネルギー材料の技術革新
- ・若手研究者、学生交換を通じて、国際社会に貢献する次世代をリードする若手研究者の育成
- ・欧州における京大ブランドの構築

## 活動概要

